

提出日： 2024 年 4 月 10 日

研究促進期間制度 研究実績報告書

所属学部・研究科	身分	氏名
文学部	准教授	羽根礼華

研究期間	以下1～4より、取得した研究機関を選択し、該当番号を右欄にご記入ください。
	1. 2023年4月 1日 ～ 2024年3月31日 2. 2023年9月 1日 ～ 2024年8月31日 3. 2023年4月 1日 ～ 2023年9月20日 4. 2023年9月21日 ～ 2024年3月31日 1
活動報告	研究期間中に実施した研究活動を具体的にご記入ください。 海外活動補助費を受給した方は、海外活動の内容が分かるようにご記入ください。
	・4月に国際コロキウム Übersetzbarkeit (in) der Literatur von Ilse Aichinger (イルゼ・アイヒンガーの文学の／における翻訳可能性、学習院大学) で研究発表を行なった (Gelöschte Amour-Passion und die Figuren des Dritten in Ilse Aichingers Hörspiel <i>Gare Maritime</i> [イルゼ・アイヒンガーのラジオドラマ『海の駅』における消去された情熱恋愛と第三者の形象])。 ・4月末から10月末まで、ボーフム大学比較文学科に客員研究員として滞在し、特にイルゼ・アイヒンガーに関する資料収集・論文執筆・研究打ち合わせを行った。滞在中、ベルリンおよびウィーンにおいても、研究者等との打ち合わせを行なった。 ・1月にベルリン自由大学のコロキウム (Doktorandenkolloquium) にオンライン参加し、ゲストスピーチを行なった (Einige Ansätze für die Lektüre von Ilse Aichingers Gedicht <i>Schneeleute</i> [イルゼ・アイヒンガーの詩「雪の人々」読解のためのいくつかの端緒])。 ・上述した国際コロキウムでの発表者を中心に国内外の研究者が寄稿するアイヒンガーに関する書籍の編集・執筆・翻訳作業を、国内他大学所属の研究者2名と協力して進めた。
得られた研究成果について	上記の研究活動の結果、得られた研究成果についてご記入ください。
	・4月の国際コロキウムでの発表を元に、論文を執筆した。本論文は、上述したアイヒンガーに関する書籍に収録される。 ・ドイツの出版社 Metzler から刊行予定の <i>Aichinger-Handbuch</i> (アイヒンガー・ハンドブック) に、テーマ Grenzen, Identität (境界、アイデンティティ) について寄稿した。
今後の計画について	得られた成果を踏まえ、今後どのように研究を発展させる計画か、ご記入ください。
	・上述したアイヒンガーに関する書籍の刊行 (2025年予定) に向けて、作業を進める。 ・ベルリン自由大学のコロキウムでのゲストスピーチを、論文に発展させ、発表する。 ・アイヒンガーにおける〈生きもの〉の形象の分析・考察を深めると共に、同テーマに関して、同時代の他の作家の作品へと研究対象を広げる。 ・今回の研究成果を、言語学分野・歴史学分野の研究者と協働して行っている、学術ドイツ語の「読み」に関する研究プロジェクトにも活かす。2024年度前期には、言語学分野の研究者との共同授業実践を行う。